

## 全日本空輸株式会社（ANA）の従業員へ 妊活に関するセミナーを開催しました ～妊活・不妊治療と仕事の両立を支援～

LINEを活用した妊活コンシェルジュサービス「famione(ファミワン)」<https://lp.famione.com/>を提供する株式会社ファミワン(本社:東京都渋谷区、代表取締役:石川勇介、以下当社)は、全日本空輸株式会社(以下全日本空輸(株))にて、妊活に関する従業員向けのセミナーを開催いたしました。また、全日本空輸(株)における従業員向け福利厚生拡充のために、2019年9月1日よりファミワンのプレミアムプランを選択型福利厚生制度の利用対象としました。

全日本空輸(株)では、多様な人材が活躍できる組織づくりを成長戦略の一つと捉え、ライフステージが変わったとしてもいきいきと働き続けるための環境の整備を積極的に行っています。社員を様々な側面からサポートするための施策の一つとして、妊活・不妊治療に対する社内全体での理解促進と、その当事者に向けた早期啓発・支援を目的とし、ファミワンによるセミナー開催と福利厚生補助を決定いたしました。



### ■妊活に関わる社会的背景

#### 約4組に1組<sup>※1</sup>のカップルが、不妊かもしれないと悩んでいる。

2018年に生まれた子どもの数(出生数)は91万8397人<sup>※</sup>で過去最低を更新し、3年連続で100万人を下回りました。

その一方で、妊娠を希望するカップルの約4組に1組<sup>※1</sup>が、不妊かもしれないと悩んでおり、6組に1組<sup>※1</sup>の夫婦が妊活・不妊治療のために治療に取り組んでいます。その結果、約19人に1人<sup>※2</sup>の赤ちゃんが体外受精によって誕生している比率になっています。このように、多くの夫婦が妊活に取り組む一方で、誰にも相談できず、二人だけで不安やストレスを抱え、夫婦間のコミュニケーションにも悩むケースが数多く存在しています。

不妊の原因の約48%が男性側にあると言われてはいますが、インターネット上には不適切な情報も多く、また、周囲に相談もしないため、男性側に原因がある可能性を知らないまま、他人事としてしまう現実があります。

※ 厚生労働省「人口動態統計月報年計(2019年)」

※1 国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向調査(2015年)」

※2 日本産科婦人科学会統計(2015年調べ)より算出

## ■セミナー開催状況

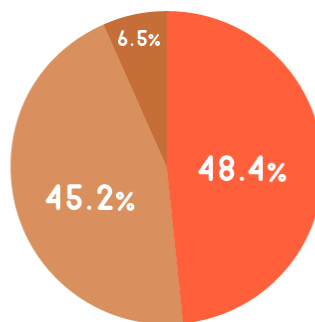
全日本空輸(株)は、シフト勤務で働く社員や短時間勤務の社員など色々な勤務形態があるため、ランチタイムでの開催や午後の早い時間帯、18時以降など様々な時間帯にてセミナーを開催しました。合計3回セミナーを開催し、参加者数はのべ50名程度となりました。

セミナー前半では全世代における男性/女性それぞれの心身の変化についての講義を行い、後半部分で妊活・不妊治療に関する知識付与や、妊活当事者の周囲にいる社員が本人へどのようなサポートやコミュニケーションを取ると良いか等、様々な側面から妊活を取り扱いました。

## ■セミナーに参加した社員の声

### ～参加者の93.6%が参加してよかったと回答～

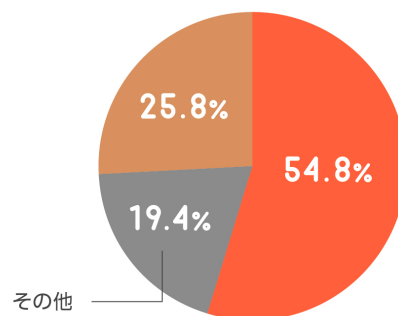
今回のセミナーについて、あてはまるものを選択してください。



■ 非常に良かった  
■ 良かった  
■ 普通

※5段階評価(非常に良かった/良かった/普通/あまり良くなかった/良くなかった)より選択

今回セミナーに参加いただいた理由を教えてください。



■ 周囲の社員への接し方について知識を深めたかったため  
■ 自分自身の健康(妊活含む)について、知識を深めたり悩みを解決したりするため

### (参加者の感想)

・妊活は特別なことではないと気づきました。

・部下からの相談を受けた際に知識がなかったものが、今回で基本知識を知ることが出来た為、相談などを受けた際にはこの知識を活かした対応をしていきたいと思いました。

・このようなセミナー機会の設定は当事者だけでなく、周囲のサポートする側も正しく認識することができ有意義でした。今回が初めてのセミナーとなりましたが、引き続き機会の提供をおこなっていただき、多くの方の理解を深めていけるような環境を作り上げていくことが有効ではないかと感じました。

## ■全日本空輸(株)への提供に対するファミワンの思い

### “妊活当事者を会社全体で支える“、その支援をしたい。

妊活・不妊治療と仕事の両立支援は、従業員へは働きやすい環境の提供、企業にとっては労働力不足の昨今において優秀な人財の確保、定着に繋がります。

ファミワンは、福利厚生としてのサービス提供においては、本サービスを導入する企業の特長に応じて、柔軟に継続的なサポートを行っています。

全日本空輸(株)では様々な福利厚生制度が充実しています。その各種制度を、より利用しやすいような環境を作るには、周囲の理解が必要です。そのため、当事者のみならず、全日本空輸(株)では管理職や若手社員などに対しても学ぶ場になるような、妊活に関する啓発セミナーを実施しました。

また、妊娠出産のみならず、妊活も含めた一連の福利厚生制度を整えることで、長く働きたいという女性社員のエンゲージ強化および離職防止につながるほか、ESG 投資を意識したダイバーシティやワークライフバランスの推進、女性活躍推進、健康経営、SDGs の実現にもつながります。

## ■妊活コンシェルジュ「ファミワン」サービス内容

### LINE を活用し、専門家のサポートをいつでも気軽に受けることが可能に。

妊活コンシェルジュ「ファミワン」(<https://lp.famione.com/>)は、妊活に取り組む夫婦を支える、LINE を活用したパーソナルサポートサービスです。LINE のアカウント登録をすることで専門のチェックシートが届き、その入力内容を分析し、あなたの妊活状況に合わせたアドバイスを行います。

全国に約 170 名しか認定されていない不妊症看護認定看護師<sup>※3</sup>や、同じく全国で約 100 名<sup>※4</sup>しか認定されていない NPO 法人 Fine の認定ピアカウンセラーなど、多くの専門家によるアドバイスを受けることができます。実際にご夫婦を対応してきた経験に基づき、時には耳が痛いコメントが届くこともあります。妊活を適切に進めるためのサポートを行います。

妊活の進め方や病院の選び方などの相談サービスとして、妊活をこれから始める方も、または治療を長く続けている方も、男女ともに多くの方に利用いただいています。基本無料で利用でき、月額有料プランの申込で、専門家への回数無制限の質問や電話相談を利用できます。

※3 2017 年 8 月時点 日本看護協会 公式サイトより

※4 2017 年 3 月時点 NPO 法人 Fine 公式サイトより

\*本サービスは医療行為ではないため、診断や処方はいりません。

## <会社情報>

### 株式会社ファミワン

所在地 東京都渋谷区渋谷 2-14-6  
代表者 代表取締役 石川 勇介  
URL <https://lp.famione.com/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

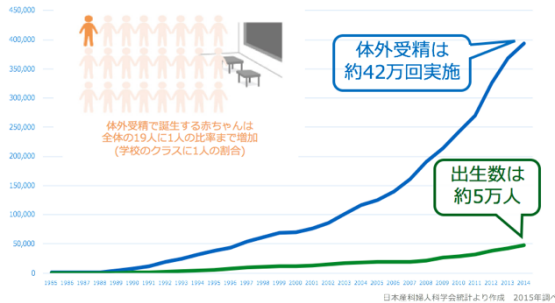
株式会社ファミワン 広報担当 Mail: [info@famione.com](mailto:info@famione.com) TEL:080-2243-6995

## 【参考資料】

### ■社会背景

#### 約6組に1組の夫婦が妊活に取り組み 体外受精の治療数も急増している

2015年に42万回実施され、5万人が誕生



### ■「ファミワン」の3つの特徴

妊活を開始した直後の、夫婦が悩みを抱える前から、LINEを活用した専門家によるサポートを実施

#### サービスの三つの特徴

1. 妊活開始直後でも、治療中でも、そして男女どちらであっても利用可能
2. 手軽にLINEで登録と相談ができ、アプリダウンロードや会員登録は不要
3. 不妊症看護認定看護師など専門知識を持ったアドバイザーによる回答

### ■ファミワン医療監修のテレビドラマ

フジテレビ「隣の家族は青く見える」2018年放送  
[http://www.fujitv.co.jp/tonari\\_no\\_kazoku/index.html](http://www.fujitv.co.jp/tonari_no_kazoku/index.html)



### ■サービスの概要

#### 不妊症看護認定看護師等による LINEのチャットサポートを提供

実際に医療現場でケアを行う専門家が適切な情報と知見をもとに夫婦の悩みに対応



### ■導入実績

小田急電鉄をはじめとする企業の福利厚生導入や東京都主催「不妊治療と仕事の両立セミナー」登場

#### 大企業やベンチャー企業 そして行政など多様な提供実績あり

mercari X famione  
従業員向けダイバーシティ推進活動として妊活セミナーを開催

odakyu X famione  
従業員に対する福利厚生制度として妊活コンシェルジュ「ファミワン」を導入

Casley Consulting, Inc. X famione  
従業員に対する福利厚生制度として妊活コンシェルジュ「ファミワン」を導入

不妊治療と仕事の両立

東京都主催の「不妊治療と仕事の両立セミナー」にパネリストとして登壇

### ■東京大学らと共に臨床研究を開始

東京大学医学部附属病院・医療法人三慧会との「生活習慣が妊活に与える影響」を解明する研究

「適切な被験者スクリーニング」「医学的観点に基づく調査票」「体外受精の各種成績」

本研究は、以下の内容をもとに、多施設共同の臨床研究として進行しています。

- 1) 体外受精を行う女性を対象に、年齢やBMI、疾患などから被験者をスクリーニング
- 2) 「FertiQoL インターナショナル※5」をはじめとする既存の調査票を参考に、東京大学と共同で作成した生活習慣にまつわるアンケートを取得
- 3) 体外受精の成績や、治療・投薬記録を取得

※5 不妊に関する生活の質(QoL)アンケート調査票/欧州ヒト生殖発生学会および米国生殖医学学会

